

# 2019年キャンパスアジアプログラム

## S セメスターソウル大学留学報告書

教養学部教養学科地域文化研究韓国朝鮮研究コース3年 高濱秀帆

### 1. 自己紹介

教養学部教養学科地域文化研究韓国朝鮮研究コース3年の高濱秀帆と申します。私は2019年3月から1年間ソウル大学に留学予定ですが、今回は2019年3月から6月までの1学期間の報告をしたいと思います。

### 2. 留学の手続き

学期ごとに出るキャンパスアジアプログラムの募集を見て、それに応募をしました。志望動機等を提出したのち、5、6人の先生方の前で面接を行いました。僕の場合韓国語で授業を取ることを考えていたので英語のほか韓国語での面接もありました。留学用にTOPIK（韓国語能力試験）とIELTS（英語能力試験）を受けたのですが、成績原本が間に合わず、結局提出しませんでした。

学内選考を通過すると次はソウル大学に申請するのですが、僕の場合東大の平均点が73点と低くソウル大のGPA要件を満たすか不安でしたが、どうやら東大の選考に通れば合格させてもらえるみたいです。成績が良い方がもちろんいいと思いますので留学を考えている人は成績に気を使うといいと思います。

### 3. 履修登録

韓国の大学は日本と違い先着順なので時間になったらすぐに登録しないとあっという間に定員に達してしまうため注意しなければなりません。以下に履修登録の流れを説明します。

まず予備登録をする日というものが3日ほどあるのですが、ここで必ず聞きたい授業の予備登録を行きましょう。本登録ではないので、迷っている授業があれば全て予備登録しておくのがいいと思います。次に、本登録の日があります。本登録は、最初の2日は学生番号の末尾が偶数奇数かで分けられた2グループがそれぞれ行います。自分の番号が偶数なのか奇数なのか確認し2日のうちどちらなのかしっかり確認しましょう。3日目からは番号に関係なく誰でも登録を行えます。本登録の時間になったと同時に、予備登録しておいた授業一覧から素早く授業を登録していきます。授業名の横のボックスをクリックして下に載っているランダムな番号を入力して登録ボタンを押す作業を行いますが、一つずつしか登録できないので注意してください。よ

く分からなければ授業登録のガイドがあるのでそれを読んでおいたり授業登録サイトを色々見ておくと役にたつと思います。

ちなみに僕は授業登録に失敗して最初2つしか申請できなかったのですが、その後誰かがキャンセルして空いた時に登録したり、授業開始後チョアンジと呼ばれる紙を先生に提出して授業に入れてもらいました。

#### 4. 受講科目

今回私が履修した科目は日本の大衆文化、中級韓国語2、初級ドイツ語1、初級インドネシア語1の4つです。以下に感想等を述べたいと思います。

『日本の大衆文化』外国、特に日本を間近で見てきた韓国から見た日本というものに興味があり、この授業を履修しました。今まで、文化をテーマにした授業を取ったことがなかったので、授業内容は常に新鮮に感じられると同時に理解しがたい部分も多々ありましたが、いい経験になったと思います。

『中級韓国語2』元々は上級韓国語を履修する予定でしたが、色々と勘違いをして、最終的に中級韓国語2を履修しました。擬態語や擬声語、ことわざを初めて習いました。また、クラスの人と仲良くなって色々辛い時期に気を休められた授業でした。

『初級ドイツ語1』ドイツの友達の影響でドイツ語を勉強したいと思い履修しました。クラスの中には再履修が3分の1程いたため周りに追いつこうと予復習に時間が多く取られました。

『初級インドネシア語1』これもインドネシア人の友達の影響で取りました。先生がとても優しくいつも気をかけてくださってくださいました。

ソウル大学全体の授業に共通していることですが、どの授業も東大より重いです。中間考査、期末考査に加えてレポートを提出したり、小テストがあったり予復習が必要になります。また、就職で成績が考慮されるため、ソウル大生のやる気は高く、自分で先取りして予習したり、毎授業後先生に質問しに行ったりする人も少なく、そのレベルに付いていくために日々勉強するしかありませんでした。

#### 5. 寮、大学生活

ソウル大学は山の中にあり、とても広いです。自然も多いし銀行とかチェーン店など便利な施設も一通り揃っています。暑い夏の日には正門近くにある室内水泳場で泳いだり、勉強に疲れた時は図書館にある映画視聴ルームで映画を見たり(無料)、試験後はマットを持って芝生の上に寝そべって出前を取って食べたりして、健康的に生活できます。ソウル大に近い駅はソウル大入り口駅とナクソンデ駅です。構内から駅ま

では歩いていくこともできますが、韓国ではバスと電車の乗り換えが無料なのでバスを利用して料金が変わりません。有名な観光地である明洞やホンデまで行こうとすると1時間ぐらいかかりますが、ソウル大入口駅前には映画館やシャロスキルと呼ばれるご飯&飲み屋街もありますし、日本でも有名なソルビンやおしゃれな雑貨が多いアートボックス等お店が多く、十分楽しめると思います。

寮は大きく分けて2種類の寮がありますが、ソウル大学側が勝手に決めるため自分で指定することはできません。一つは、2人一室でトイレやシャワー、洗濯機が共同の棟、もう一つは2人一部屋で3部屋共同のトイレ、浴室、洗濯機、リビングが共同の棟です。後者の方が多少寮費が高いですが、大きな差はないです。どのタイプの寮になるかはソウル大次第ですが、生活は概ねしやすいと思います。寮は大学構内にあり、人文大学の棟であれば徒歩10分ぐらいで着くことができます。構内には循環バスもあるので遠い学部の棟でも楽に行けると思います（私は利用したことがないため詳しく知りません）。寮から歩いて5分ぐらいの大学院の寮の前にはコインカラオケや美容院、体育館、ジム、コンビニ、雑貨屋、ご飯屋等便利な施設も揃っており、大学内で欲しいものは結構揃えることができます。

## 6. ネット環境

学内ではソウル大学や通信会社のWi-Fiがあるため、データを使うことはあまりありません。韓国ではネットで何かの会員登録をする際に電話番号を求められる場合が多く無いと会員登録ができなかったりとなかなか不便なので韓国の電話番号を貰えるしsimカードを購入することをお勧めします。学生会館内にあるショップで安くsimカードを購入できるので、私はそこを利用していました。

## 7. 街中での英語の通用度

韓国は若い人の英語に対する情熱は日本よりも高いと思いますが、英語だけで生活するのは辛いと感じます。街中では英語が併記されていない場合が多いので韓国語をある程度勉強してくることをお勧めします。

## 8. 交遊&SNUBuddy

留学が始まった当初は、ソウル大に知り合いすらいなくて、他大学の友達に会いに行ったり、同じプログラムで一緒に来た東大の友達と遊ぶことが多かったです。その後は交流を広げるために、ソウル大学の水泳サークルや、日本人学生が中心となっていた日韓の歴史に関する勉強会に参加したり、寮の体育館に行ってバドミントンをしたりしました。そしてこれらの活動を通して出会った友達とは毎週末マッチプ（韓国語で美味しいご飯や）開拓をしたり、ノレバン（韓国語でカラオケ）でお互

いの国の歌を歌ったり、ソウルを飛び出て有名な観光地に遊びに行ったり、カフェに行って夜遅くまで話したり、とても楽しい思い出を作ることができました。友達の半分以上が外国人で、それも大学院生が多く僕の方が先に日本に帰ってしまうのですが、2学期はもっと遊んで仲を深めてこれから先も仲良くしていきたいと思います。

最終的には友達と呼べる存在ができたのですが、初期は友達作りに苦労していました。友達と遊ぶことで日々の勉強のストレスから解放されて良い気分転換となり留學生活が円滑に進むと思うので、今後留學に来る人のために個人的なアドバイスを書きたいと思います。

まず、正規の学生（私の場合ソウル大生）は時間があまりないことが多いです。自分の今の生活を振り返ってもらえばわかると思いますが、たくさんの授業、サークル、バイト等であまり自由な時間が多くないと思います。それに比べて留學生は、少ない人は9単位、多くても15単位ほどしか履修せず、バイトもしていない人がほとんどなのでとても時間が多くあります。そのため遊びやすく友達になりやすいです。

次に、積極的に遊ぶ約束をしていくことが効果的です。例えば初めて知り合った人と連絡先を交換したら、なるべく早いうちに「ここのご飯屋美味しそうじゃない？」とか送って「美味しそう、いつか行きたい」とか送られてきたら、すかさず細かい日程を決めて次また会う約束をします。そして一緒にご飯を食べた後は卓球しに行ったりカラオケに行ったりして仲を深めて、次いつ会うかをその場で決めます。このように積極的な姿勢をとることで簡単に友達を作ることができると思います。あまり強引なものも相手を困らせてしまうかもしれませんが、消極的になれば友達はなかなかできないと思うので、ある程度は積極的になるといいと思います。

留學が決まるとSNUBuddyという団体からメールが来ると思います。SNUBuddyはソウル大学に留學にくる外国人学生をソウル大の生徒が手伝ったり一緒に交流する目的のサークルです。申請は入りたいグループを学期前の決まった日時にあらかじめ選択し、後日5万ウォンを持ってSNUBuddyの元へ行くと参加することができます。活動は主に数十人単位の比較的大人数で行動することが多く、毎週末お酒を飲みに行ったり、大きなイベントとしては体育大会や各国ごとの料理披露会、お寺宿泊などがあります。留學生は韓国語をあまり話せないので共通語は英語です。毎回のイベントは強制参加ではないので時間があるときに自由に参加することができます。

## 9. 反日運動

ここ最近日本政府による韓国のホワイト国除外の動きに対して韓国では日本製品の不買運動や反日運動が行われています。私は外国人の友達と一緒に遊びに出かける

ことが多く、日本語をほとんど喋らないため日本人と認識されづらいこともあり、差別にあったことは今のところありません。日本の友達と遊ぶときも堂々と日本語を喋りましたが、直接的な被害は全くありませんでした。しかし街中を歩いていると反日の内容が書かれた看板を見かけることがありました。また、空港から市内に向かう電車では日韓の領土問題に関する映像広告が流れていました。反日運動に過度に反応する必要はありませんが、日本でもそうであるように韓国にも過激な思想を持った人は必ずいるので気を緩めてはいけないなと思います。

#### 10. お勧めご飯屋さん

今回はソウル大入口駅周辺のご飯屋さんを紹介します。

「라화콩부라팩잡 ソウルシャロスギル店」ここではマラタン（中国料理）を食べることができます。マラタンは中国っぽい味の辛いスープに自分が入れたい具材を決めてカスタムすることができます。辛くて美味しいものを食べたいときはここがお勧めです。

「よつや天井」名前から分かる通り天井屋さんです。いつ見ても行列がある人気店です。味は日本の天井と全く一緒なので、日本食食べたいときはお勧めです。

「운현나라우니ョン나라」ここは5000ウォンで袋ラーメンと簡単なおかず類食べ放題の店です。全てセルフでラーメンを作るので少し韓国っぽい体験ができます。おかずはハムやもやし、卵、もち、ねぎなど様々あります。元を取るのには難しいと思いますが、大食いに自信がある人は行ってみる価値ありです。

「새우당세우단」名前の通り海老料理が絶品です。

「쿠모식당크모식탄」カツサンドで有名ですがサーモン丼も絶品です。人気店なのでいつも行列があります。

「소백양 샤부샤부소베키안샤브샤브」中国式シャブシャブのお店です。好きな具材を選んで作る食べ放題形式です。

「오후의 과일오페 쿼일」ここはスフレパンケーキが有名です。ふわふわのパンケーキは絶品で人気店です。

「황홀경ファンホルギョン」この店は少し奥まったところに入口があり見つけにくいと思いますが、おしゃれな隠れ家的なカフェです。店は地下にありアンティーク調の家具とろうそくが雰囲気演出しています。パンケーキが美味しいです。

#### 11. 来学期に向けて

今学期は語学堂に行かない代わりに比較的理解しやすい語学の授業を多めに取りました。来学期は韓国や北朝鮮に関わる授業を履修するつもりです。留学して初めて

気づきましたが、母国語で授業を受けられることがどれほどありがたいことか、、、留学前に英語、韓国語共に留学の条件をクリアしている状態でしたが、まだまだ不十分だと感じました。外国語で授業を聞いて文献を読んでテストを解くことは想像より大変で、今でも落ち込む時もありますが、これもまたいい経験だと捉えより一層成長することを目標に来学期も悔いの無いように精一杯頑張ろうと思います。



(試験後に友達と有名な豚足のお店でお疲れ会した時の写真)